

# 事業報告書

第IV期（令和元年8月1日～令和2年7月31日）

一般社団法人ハビリスジャパン

## 第IV期（令和元年8月1日～令和2年7月31日）事業報告書

### I 法人の概況

#### 1. 設立年月日

平成28年8月1日

#### 2. 定款に定める目的

当法人は、義肢を必要とする子ども達と、様々な障害がある子ども達の社会参加に関わる総合的な支援体制を確立することを目的とする。

#### 3. 定款に定める事業内容

- (1) 障害のある子ども達の社会参加の支援事業
- (2) リハビリテーション・ハビリテーションの教育・啓蒙事業
- (3) 小児用アクティビティ・日常生活用義肢等の開発・調査研究事業
- (4) 小児用アクティビティ・日常生活用義肢等のレンタル事業
- (5) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

#### 4. 会員の状況

ハビリス個人会員 125 名、賛助会員 15 社

第IV期寄附 企業からの寄附：2 社

個人からの寄附：実人数 17 人（延べ人数 38 人）

※個人からの寄附は、1 回限り場合と毎月の場合があるため、寄附者実人数に加えて、寄附回毎に 1 人とカウントした延べ人数を併記。

#### 5. 主たる事務所の状況

主たる事務所：東京都港区赤坂 7-3-37 プラスカナダ 1 階

#### 6. 役員等に関する事項

役職	氏名	常勤・非常勤の別	現職
理事長	長野洋	非常勤	
理事	松井秀文	非常勤	
理事	上田啓子	非常勤	弁護士
理事	藤原清香	非常勤	医師
監事	北村浩志	非常勤	税理士
監事	福村圭一	非常勤	

#### 7. 職員（常勤）に関する事項

職員数		前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男子	0 名	0 名	—	—
女子	0 名	0 名	—	—

## II 事業の状況

### 1. 事業の実施状況

#### (1) 障害のある子ども達の社会参加の支援事業

下記 PAFF イベントを計 3 回開催

##### ① 令和元年 9 月 8 日: Habilis kids project 「キャッチボール教室」

(主催: 東京大学スポーツ先端科学研究拠点、協賛: 中外製薬(株)、後援: 日本リハビリテーション医学会・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・日本義肢装具士協会、協力: オットーボック・ジャパン株式会社・(株)パシフィックサプライ、三菱財団助成)

手足に欠損のある子ども達とその家族を対象とした体力測定を実施。また、元プロ野球選手の小杉陽太氏、下園辰哉氏、柴田章吾氏にご指導いただきながら、子ども達は、それぞれに合った道具を使用して、ボールを投げたり、捕ったり、打ったりすることで、自分自身のからだのことや使い方、運動の楽しさを知る機会となった。

##### ② 令和元年 10 月 22 日: Habilis kids project 「第 7 回 PAFF 運動教室」

(協賛: (株)大泉スワロー体育クラブ、三菱財団助成)

手足に欠損のある子ども達を対象に運動指導専門員の指導のもと体力測定や運動を実施。まず体力測定を行い、子ども達は学校・幼稚園では実施したことのない測定項目にも挑戦した。また、補助を伴いながらのストレッチや跳び箱運動を行い、体を動かす経験ができた。初めて参加した子どもも、毎回参加している子どもも、それぞれのペースで楽しみながら、短い時間の中でできることが増えた。

##### ③ 令和元年 11 月 24 日: Habilis kids project 「PAFF meeting 思いっきり走ろう in 福井」

(協賛: 福井大学医学部附属病院リハビリテーション部・理学療法士協会、三菱財団助成)

東京・大阪以外の都市での初開催となった本イベント。午前中は「車いすや義肢と障がい者スポーツとのかかわり」についてのセミナー、午後は体力測定と「思いっきり走ろう!講座」を開催した。子ども達は、「思いっきり走ろう!講座」の講師の山本篤選手と芹澤宏樹選手の指導の下、バランスの良いからだ作りと走り方を学んだ。

その他、下記イベントの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症対策により中止とした

- 令和 2 年 2 月 29 日(土) 沖縄キッズランニングスクール・車いす体験会 (琉球大学、豊見城体育館)
- 令和 2 年 3 月 27 日(金) 料理教室 (東京ガス株式会社、studio+G GINZA)
- 令和 2 年 3 月 20 日(金) 運動教室 (大泉スワロー体育クラブ)

## (2) リハビリテーション・ハビリテーションの教育・啓蒙事業

### ① 教育セミナー開催

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催していない。

### ② 専用サイト運用

イベントで得られた知見を、専用サイトを通じて広く発信した。アクセス数は約 5100 に達している。

[ 専用サイトアドレス ( <http://habilisjapan.com/habilisjapan> ) ]

### ③ ソーシャルネットワーキングサービス (SNS) の専用アカウントによる情報発信

Facebook、Twitter、ならびに YouTube の専用アカウントを取得し、イベントで得られた情報を発信することにより、専用サイトへの誘引を行った。

### ④ マスメディアを通じた情報発信

令和元年 11 月 17 日 NHK2020 サンデースポーツに 9 月 8 日開催「キャッチボール教室」と 10 月 22 日開催「PAFF 運動教室」に参加した子ども達が、講師の先生がたのアドバイスを受けながら、いきいきとスポーツに取り組む様子が放映された。

令和元年 11 月 24 日 NHK 福井放送に同日開催「思いっきり走ろう in 福井」の様子が放映された。

2020 年 2 月 25 日 毎日新聞に次の内容が紹介された。2 月 12 日開催の「毎日新聞障がい者スポーツフォーラム」に藤原理事がパネリストとして登壇し、「アスリートに欠かせない『義肢装具』その可能性と未来」をテーマに議論を行った。

## (3) 小児用アクティビティ・日常生活用義肢等の開発・調査研究事業

### ① イベントを通じたアンケート結果とデータ分析・地方開催の実現

三菱財団助成による社会福祉事業・研究を総括するため、体力テスト、ならびにこれに付随したアンケートのデータの整理と分析を行った。体力測定の結果、四肢形成不全・麻痺児と健常児とでは、捕球と 25m 走の平均は未就学児では差があり就学児では差がない傾向があった。一方で、両足連続跳び越しは四肢形成不全・麻痺児は健常児より顕著に時間が長くかかった。アンケートでは四肢形成不全・麻痺児と健常児では 1 日の睡眠時間とテレビの視聴時間の差を認めた。ただし、いずれの結果も児童数が少ないため、測定と分析を継続し増やす必要がある。

上記結果を専門部会で報告し、体力の評価と体力向上に向けた方針の議論を行った。

課題名「上肢欠損小児の運動用義手のニーズと有効性に関する研究および総合的な普及支援」

#### (4) 小児用アクティビティ・日常生活用義肢等のレンタル事業

昨年度まで行ってきた貸与事業を今年度も実施し、現在 Shroom7 名 Tamtam1 名 Hamo3 名の手先具貸与を実施している(令和2年7月末現在)。

#### (5) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

##### ① 会員、寄付者、提携サポーターの募集活動

本法人の目的を広く認知していただくために、ハビリス会員、賛助会員、寄附者の募集を行った。第IV期はハビリス会員 125 名、賛助会員 15 社となった。のべ寄附者は 2 社/17 名(延べ 38 名)であった。

##### ② 各法人・団体・個人との連携・協力体制の構築と継続的な情報交換

東京新橋ロータリークラブ、東京大学医学部附属病院リハビリテーション科、東京ガス、職業体験・KCJ GROUP(キッザニアジャパン)、東京大学スポーツ先端科学研究拠点、大泉スワロー体育クラブ、川村義肢、大阪市長居障害者スポーツセンター、NPO 法人 Hand&Foot、先天性四肢障害児父母の会、公益財団法人いしずえ、全日本テコンドー協会パラ委員会、(株)東鋼、(株)今仙技術研究所、(株)田沢製作所、東京大学大学院工学系研究科との連携に加え、新たに中外製薬、福井大学医学部附属病院リハビリテーション科、琉球大学と連携した。

##### ③ 「NPO 法人 2 枚目の名刺」主催のサポートプロジェクトとの連携

様々なバックグラウンドをもつ社会人と非営利団体が一つのチームとなって課題解決に取り組む有期サポートプロジェクトに令和2年7月から参画している。子どもたちの未来を支える事業をより発展させていくため、現在ハビリスジャパンが抱える課題を共有し、課題解決に向けて一緒に取り組んでいる。11月に成果をまとめ報告する予定である。

##### ④ 物販の企画

未実施

##### ⑤ その他

- ・ 公益財団法人三菱財団の平成 29 年度助成金社会福祉を申請し、平成 30 年度～令和元年度の 2 年間合計助成金 5,300,000 円を得ている
- ・ FIT チャリティ・ランの 2019 年度支援先に選ばれ、助成金 6,390,000 円を得ている。  
令和 2 年 1 月 19 日のチャリティ・ランイベントにはハビリス会員とご家族、長野理事長、松井理事、藤原理事、上田理事、サポートメンバーが参加した。

\*FIT チャリティ・ランは、金融サービス業関連企業関係者を中心に 2005 年より毎年開催されているチャリティマラソンである。収益金は、まだ世間に広く知られていないなどの理由から十分に活動資金が確保できていない非営利団体に寄付される。

## 主な事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所
障害のある子ども達の社会参加の支援事業	キャッチボール教室 運動教室(7) PAFF meeting 思いっきり走ろう in 福井	令和元年9月8日 令和元年10月22日 令和元年11月24日	東京大学 大泉スロー体操クラブ 福井県営陸上競技場
リハビリテーション・ハビリテーションの教育・啓蒙事業	HPとFacebook上での上記イベントの報告書作成と掲載	(報告書) 随時	(報告書) 当法人HP/Facebook
小児用アクティビティ・日常生活用義肢等の開発・調査研究事業	PAFF イベントでのアンケート	令和元年9月8日 令和元年10月22日 令和元年11月24日	東京大学 大泉スロー体操クラブ 福井県営陸上競技場
小児用アクティビティ・日常生活用義肢等のレンタル事業	TRS社 Shroom Tumbler/ 今仙義肢社 Tamtam・Hamo の個人への貸与事業	随時	随時

## その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	法人のホームページ作成 フライヤー作成・会報発行等による広報活動	随時	法人事務所

## 2. 重要な契約に関する事項

該当事項なし

## 3. 役員会等に関する事項

### (1) 理事会・社員総会について

#### 実施年月日

令和 元年 10月17日	第14回	理事会
令和 元年 10月31日	第8回	社員総会
令和 2年 1月9日	第15回	理事会
令和 2年 1月14日	第9回	社員総会
令和 2年 1月14日	第16回	理事会
令和 2年 2月18日	第17回	理事会
令和 2年 7月17日	第18回	理事会
令和 2年 7月30日	第10回	社員総会

## (2) 専門部会について

役職	氏名	常勤・非常勤の別	現職
専門部会長	大西謙吾	非常勤	大学教員（工学）

### ① 活動内容

- ・ 体力測定とアンケートを運動イベントで実施し、結果の統計分析を行った
- ・ 専門部会を開催し体力測定とアンケートの結果・分析の報告と、体力の評価と、体力向上に向けた方針の議論を行った

### ② 令和2年度活動予定

- ・ 昨年度実施した運動教室参加者への義肢に関するアンケート調査に関してデータの分析を進め、質問紙調査の結果をまとめる
- ・ 専門部会を開催し、委員の意見を集約し報告する
- ・ 引き続き各運動イベントで体力測定を実施し、四肢形成不全児の身体運動能力のデータ収集を継続して実施する

## 4. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移

単位：円

事業年度	令和2年7月期
正味財産収益合計	10,483,669
正味財産費用合計	3,212,589
正味財産増減額	7,271,080
資産合計	13,649,190
負債合計	108,537
正味財産	13,540,653

## Ⅲ 法人の課題

三菱財団及びFIT チャリティ・ランからの助成金を活用して義肢を必要とする子ども達と様々な障害がある子ども達の社会参加に関わる総合的な支援事業を今後も継続する方針である。将来的には助成金に依存せずに本法人の維持運営体制が保持できるような財政基盤の確立が必要である。

## Ⅳ 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

なし

第IV期(令和元年8月1日～令和2年7月31日)事業報告の附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」が

存在しないので作成しない